

2013年4月8日

第11回アジア化粧品技術者会研究発表会(ASCS)バリ大会
ノエビアグループから3件の研究成果を口頭発表いたします。(4/24)

ノエビアグループは、2013年4月23日～25日にインドネシアのバリ島で開催される、第11回アジア化粧品技術者会研究発表会（Scientific Conference of Asian Societies of Cosmetic Scientists：ASCS）にて、3件の研究成果を口頭発表いたします。ASCSは、アジア地区における化粧品技術の向上と化粧品産業の一層の発展を図り、アジアの化粧品技術者相互の交流を深めることを目的として、日本が提案や参加を呼びかけ、「第1回ASCS 大会」を1993年6月に神戸国際会議場で開催したものです。ノエビアグループからは、本年、商品応用が決定している下記3件の研究成果を口頭発表いたします。

【発表内容】

- 〈和文名〉 脳血流計測によるスキンケア化粧品の有用性とストレス抑制効果の心理生理学的評価
- 〈英文名〉 Psychophysiological assessment of the benefits of skin care treatment and the effect of suppressing stress by measuring cerebral blood flow changes.

【発表者】

株式会社ノエビア 研究開発部 新素材開発グループ 川口屋 幸

【発表内容】

- 〈和文名〉 大豆イソフラボン代謝産物エクオール肌の美容効果
- 〈英文名〉 Equol, which is derived from the metabolism of soy isoflavone by intestinal bacteria, is beneficial for human skin.

【発表者】

株式会社ノエビア 研究開発部 新素材開発グループ 上野 省一

【発表内容】

- 〈和文名〉 液状油による新たなTEWL抑制メカニズムの解析と、高い効果を有する新規エステル油の開発
- 〈英文名〉 Study of the new transepidermal water loss suppression mechanism by using liquid oils and the development of novel oils to improve epidermal barrier function.

【発表者】

株式会社ノエビア 研究開発部 新素材開発グループ 宮地 伸幸

※発表の詳細内容につきましては、後日リリース予定です。

＜このリリースに関するお問い合わせ＞

株式会社ノエビア 東京都中央区銀座 7-6-15 広報・宣伝部 後藤・森山
TEL 03-5568-0349 FAX 03-5568-0441